

(2) 教育研究グループの奨励

教育研究グループの奨励費補助金の交付を下記の3グループに行った(1グループ10万円)。

研究グループの名称	代表者勤務校	代表者氏名	人数	研究主題
会津ことばの会	県立聾学校会津分校	横山昭三	7	聴覚障害児ののぞましいことばの発達をめざして —一人一人の実態に応じた授業の展開—
石養ききょう会	県立石川養護学校	河野功	10	一人一人の能力に応じた表現力を高めるためには、 どのような教材・教具を選択し、活用すればよいか
グループ拓く	県立須賀川養護学校 竹田分校	千葉高一	16	一人一人を正しく理解し、個々に応じた指導をどの ようにすればよいか

3 内地留学・長期研修派遣

(1) 宮城教育大学

言語障害教育 1年間

原町市立原町第二小学校

教諭 谷地 ミヨ子

(2) 東京学芸大学

精神薄弱教育 1年間

郡山市立逢瀬中学校

教諭 服部 久美子

(3) 横浜国立大学

情緒障害教育

会津若松市立城西小学校

教諭 安田 俊子

(4) 国立特殊教育総合研究所

○長期研修 1年間

① 聾教育

福島県立聾学校

教諭 喜多見 潤子

② 重複障害教育

福島県立郡山養護学校

教諭 鹿目 剛樹

福島県立平養護学校

教諭 小林 志津子

福島県立いわき養護学校

教諭 山田 拓

○短期研修 3か月

① 視覚障害教育

福島県立盲学校

教諭 笹川 二郎

② 精神薄弱教育

いわき市立小名浜第二中学校

教諭 吉田 一右

③ 病弱教育

福島県立須賀川養護学校

教諭 渡辺 周二

三春町立三春小学校

教諭 高橋 正美

④ 重度・重複障害教育

(感覚障害を主としたコース)

福島県立大笹生養護学校

教諭 石井 正明

(知的障害を主としたコース)

福島県立猪苗代養護学校

教諭 芳賀 孝美

福島県立富岡養護学校

教諭 大竹 利之

4 教育課程

(1) 特殊教育教育課程県研究集会

小学校及び中学校の精神薄弱特殊学級における、教育課程に関する指導上の問題点について部会別に研究協議し、その解明を図り、もって教職員の指導力の向上と学習指導の改善に資する。

期日	期間	会場	参加者	研修内容
8月5日 ～6	2日	郡山市立 橋小学校	97人	研究発表・協議「領域・ 教科を合わせた指導」、 「児童生徒の実態に即 した指導」 講演「精神薄弱特殊学 級における学習指導の 進め方」

(2) 養護教育教育課程編成管理講習会

盲・聾・養護学校並びに特殊学級の教育課程の実施と管理について研究協議を行い、その課題を明らかにするとともに、児童生徒の障害の程度、特性に即した教育課程の効果的な実施を図る。

期日	会場	参加者	研修内容
5月13日～14日	県立聾学校	21人	講話
6月10日	県立聾学校	21人	「教育課程の実 施と管理」
6月6日	県立盲学校	13人	
8月1日	喜多方市立喜多方養護学校	16人	研究協議
7月31日	自治会館	24人	「心身障害児の 実態に基づく教 育課程の実施と 管理」
8月2日	郡山合同庁舎	25人	
8月2日	白河合同庁舎	21人	
10月22日	原町合同庁舎	25人	
11月5日	会津若松市立第二中学校	25人	
11月14日	いわき合同庁舎	24人	
11月20日	県立須賀川養護学校	24人	
12月9日	県立平養護学校	12人	

(3) 指導の手引の刊行

① 「心身障害児の学習指導の手引——特殊学級編——」

○規格 A5判80ページ

○発行部数 1,000部

○内容 ・特殊学級における学習指導の特質
・学習指導計画の作成
・特殊学級における学習指導の展開

○配布先 特殊学級設置校、盲・聾・養護学校 他

② 「心身障害児の道徳指導の手引——盲・聾・養護学校編」

○規格 A5判40ページ

○発行部数 800部

○内容 ・心身障害児の道徳教育
・指導計画作成上の留意事項